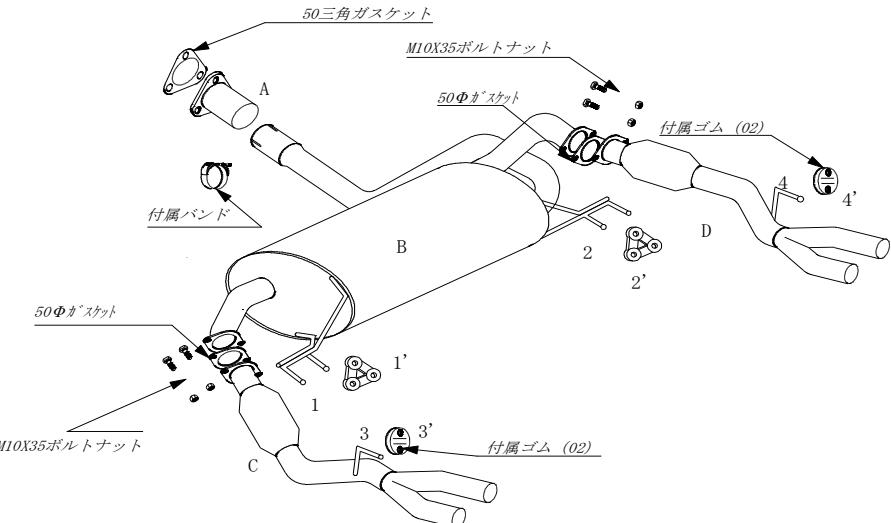


☆ご注意ください。
記載の適合型式以外への取付は、新規制対象外になります。

新規制対応品

製品名称	製品番号	車名	車両型式	年式	エンジン型式		構成部品及び付属品リスト
M'z SPEED	MZ75	ホンダ オデッセイ ハイブリッドアブソルート	DAA-RC4	H28/2~	LFA-H4		品名 数量
							本体(A) 1
							本体(B) 1
							本体(C) 1
							本体(D) 1
							本取扱説明書 1
							50Φ三角ガスケット 1
							50Φガスケット 2
							M10x35フランジボルト 7
							M10フランジナット 7
							付属ゴム(02) 2
							付属バンド 1



※キャニスター配管を、写真○位置のねじ位置を利用してブラケットと共に配管を移動してください。

最低必要工具

メガネレンチ	12mm 14mm
ソケットレンチ	12mm 14mm
トルクレンチ	

組付作業手順

警告!

着装作業は専門の整備工場などに依頼してください。

【(1)ご使用の前に】を十分に理解した上で作業を実施してください。

※着装作業は必ず2名以上で行なってください。

※文中的純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

※上記添付写真を参照し、キャニスター配管の移動を行います。

1.「本体(A)の仮組付け」

本体(A)と純正マフラーの間に、付属50Φ三角ガスケットを挟み、付属ボルト(M10x35)、ナット(M10)で仮締め付けして下さい。

2.「本体(B)の仮組付け」

本体(B)の取付けブラケット(1)(2)を純正吊下げラバーステー(1')(2')に差込み、本体(A)のパイプに、本体(B)を差しこみ付属バンドで仮締め付けして下さい。

3.「本体(C)の仮組付け」

本体(C)の取付けブラケット(3)を純正吊下げラバーステー(3')に差込み、本体(B)のフランジと本体(C)の間に、付属50Φガスケットを挟み、付属ボルト(M10x35)、ナット(M10)で仮締め付けして下さい。

※純正吊下げゴムを付属ゴム(02)に取替えて下さい。

(アブソルート以外は、純正吊下げゴムは、付いていません)

4.「本体(D)の仮組付け」

本体(D)の取付けブラケット(4)を純正吊下げラバーステー(4')に差込み、本体(B)のフランジと本体(D)の間に、付属50Φガスケットを挟み、付属ボルト(M10x35)、ナット(M10)で仮締め付けして下さい。

※純正吊下げゴムを付属ゴム(02)に取替えて下さい。

5.「全体の本組み付け」

本体(A)(B)(C)(D)及び出口の位置関係や自動車の床、その他周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら前から順番に指定トルクで締め付けください。
(締め付けトルク400~500Kgf.cm)

テールパイプと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合がある場合は最初から締め直してください。クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパーの場合熱で溶けたりします。

6.「装着状態の確認」

全体の本組付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺すって各部のクリアランスを確認してください。エンジンを始動して暖機し、約2500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検して下さい。運転して再度、各フランジからの排気漏れ、又は各部の異常音を点検してください。異常があれば、最初から装着をやり直してください。

《異常があれば、面倒でも最初からやり直して下さい。》

以上で当社マフラーの装着が完了しました。もう一度本取扱説明書をよく読んで安全で快適なドライブをしましょう。

お願い!

装着後200~300km走行した後にもう一度各部のボルト類の
増し締めと、各フランジ間のガス漏れの点検をして下さい。

2016/7/27 作成

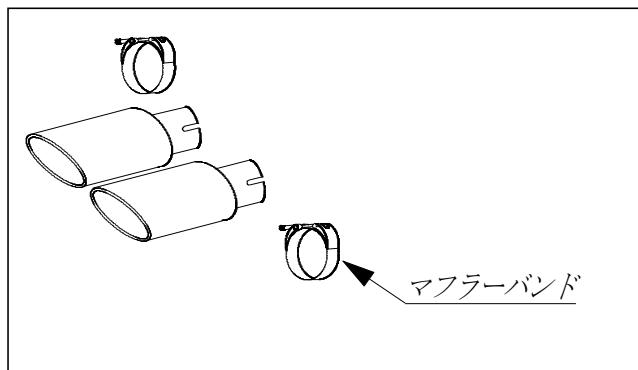
製品番号 : MZ75
ホンダ オデッセイ DAA-RC4

◎専用マフラークリッパーの組付け

パイプの先端に、専用マフラークリッパーを差込み、リアバンパーの先端から出ないように調整してマフラーバンドで締付けして下さい。

構成部品及び付属品リスト

マフラークリッパー本体 : 4本 テールサイズ
専用マフラークリッパー : 4個 120X85-130mm



ご注意 !

◎ マフラークリッパーと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認して下さい。
不具合がある不具合がある場合は最初から締め直して下さい。クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパーなどが熱で溶けたりすることがあります。

お願い!

装着後200~300km走行した後にもう一度各部のボルト類を増し締め及び点検を行って下さい。